

# 大空への夢 育んで

## 各務原市、小中生に航空機産業学習事業

### 新年度から 設計など、機体も使用

各務原市は新年度、子どもたちの夢を育む事業として展開している。校外学習「寺子屋事業」を拡充する。航空機産業が盛んな市によると、国内

他の自治体でも行っていない先駆的な取り組み。2016年度から2年間で計2千万円規模の事業を展開する。寺子屋事業は14年度から、歴史発見事業としての文化財巡りや、社会福祉体験学習事業としての職業体験など

ど、小学生を対象に約20の事業を実施してきた。航空機産業関連の事業もあったが、市内の業者などを見学するコースが主だった。新事業は、かかみがはら航空宇宙科学博物館(同市下切町)や、専門学校が所有する実機や操作模型を使って飛行機の構造や操作を教えるほか、航空機の設計ソフトウェアを使い、設計や飛行実験なども実施できる本格的なもの。参加対象は中学生まで引き上げ、将来のキャリアデザインもテーマとする。

市は事業を通じて高度な知識や技術を持つ人材の発掘や育成を進め、市内事業者の活性化に寄与したい考え。

(舌間隆博)



各務原市の「寺子屋事業」で製造業者を見学する児童ら。新年度は航空機産業にも拡大する＝同市内